



薬剤師レジデント制度について

薬剤師レジデント制度

理念

大学病院での薬剤臨床業務を通じ、医療人としての倫理観と
Generalistとしての薬剤師の基礎能力を有する薬剤師を育成する

実務

業務内容・目的を
理解し、業務を
遂行できる

教育

自己研鑽に励むと
共に、後進を育成

研究

日々の疑問の解
決策の立案、成果
の発表

年次目標

■ 年次目標

1年次：Generalistとしての薬剤師の基礎能力の習得

2年次：臨床薬剤師に必要な薬学的能力・臨床経験の習得

■ 年次課題

1年次：薬剤部中央業務における一般的知識及び技術の習得

病棟薬剤業務に必要な一般的知識及び技術の習得

2年次：多職種との連携を通じた臨床的能力の向上

臨床研究に対する一般的知識及び技術の習得

研修スケジュール：1年次

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
業務 内容	調剤・注射、持参薬識別 TPN/抗がん剤調製 部門研修（医薬品情報室、薬品管理室、製剤・化学療法支援室など）						調剤・注射・持参薬識別・TPN /抗がん剤調製					
							病棟① 内科系、外科系を1病棟ずつ			病棟②		

- 中央業務（調剤・注射・持参薬識別・TPN /抗がん剤調製）
- 病棟業務（10月より3ヵ月/1病棟×2クール）
- 部門研修（医薬品情報室・製剤室・医薬品管理室・化学療法支援室など）
- チーム医療研修見学
- 臨床研究準備
- 領域別勉強会
- 附属2病院での交換研修 など

研修スケジュール：2年次

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
業務内容	中央業務（調剤・注射・持参薬識別・TPN /抗がん剤調製など）											
	病棟業務（4ヵ月/1病棟×3クール：希望に応じて選択可能）											

- 病棟薬剤業務
- チーム医療研修
- 適応外・未承認薬使用に関する研修
- 臨床研究・学会発表
- 後進の育成（1年次レジデント、学生実習）

2年次は様々な病棟・業務へチャレンジ



新生児集中治療室（NICU）



高度救命救急センター

より専門性が高い病棟へ



薬剤師外来・チーム医療

専門性が高い業務への参加

研修到達度確認

■ 到達度確認表を用いて、指導薬剤師、レジデント相互で確認

新採用職員・レジデント研修チェック表＜調剤室＞

担当者：

必須項目

項目	チェック項目 (* 印は復職者向けの項目)	自己評価	担当者評価
		できるものに○	
システム	* 調剤支援システム・オーダリングシステムの役割を理解している		
	* オーダリング端末の操作方法を理解している		
	アシストシートが出たときの対応ができる		
	* F-wave端末の操作（内外用/粉碎/麻薬調剤・修正・棚補充・返品）ができる		
	* 発行機の一般的なトラブルシューティングに対応できる		
一般	処方箋の種類（入院、外来院外・院内など）を理解している		
	* 調剤内規の内容を一通り理解している		
	入院処方の定時・臨時・退院・定時・先渡し・必要時等の区別ができ、処方の流れを理解している		
	* 入院処方の搬送時間を理解している		
	入院処方の発行ができる。		
	外来調剤ができる		
	* 退院処方にお薬手帳用のシールを添付することができる		
	臨時購入薬の調剤ができる		
	* 在庫管理上の注意点を知っている（処方箋によらず薬剤の廃棄などをした、日数変更をして調剤したなど）		

チューター制度

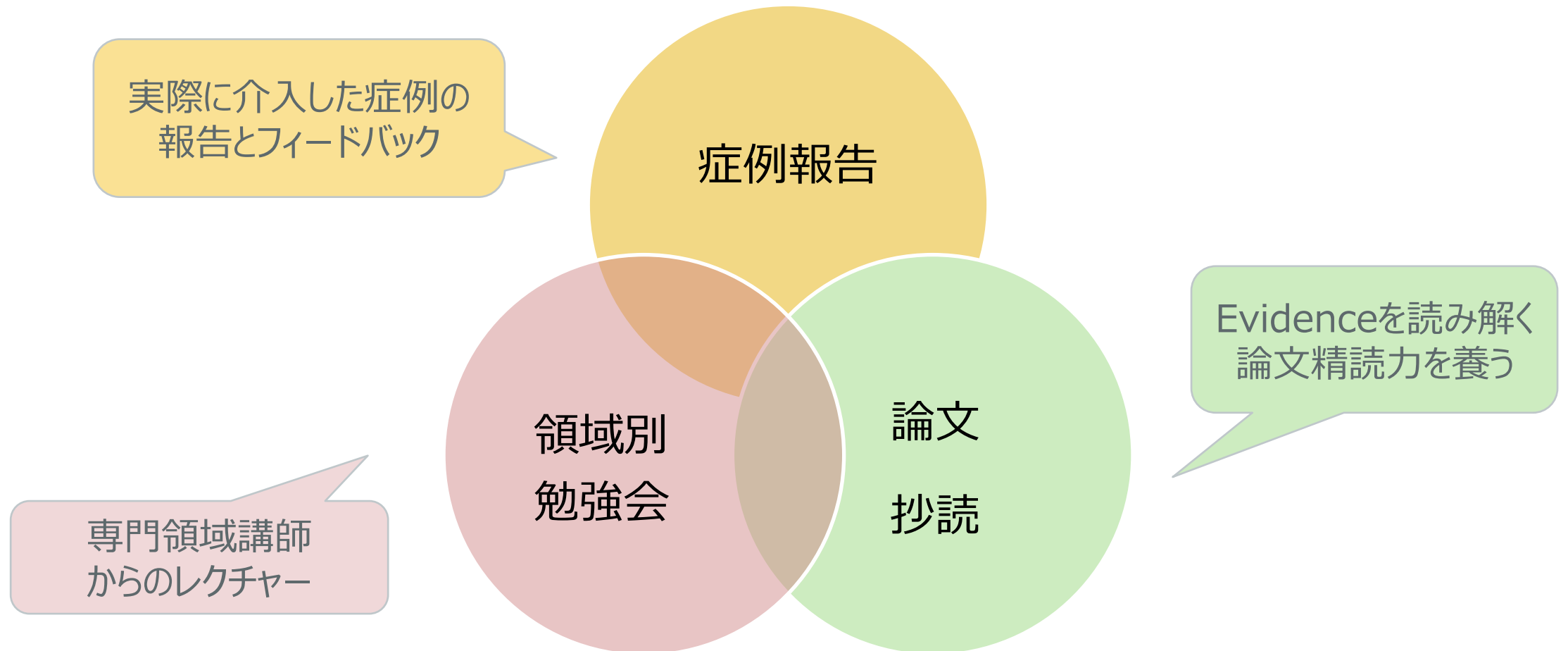
目的：

レジデントに必要なアドバイス等を行い、研修の充実を図る。

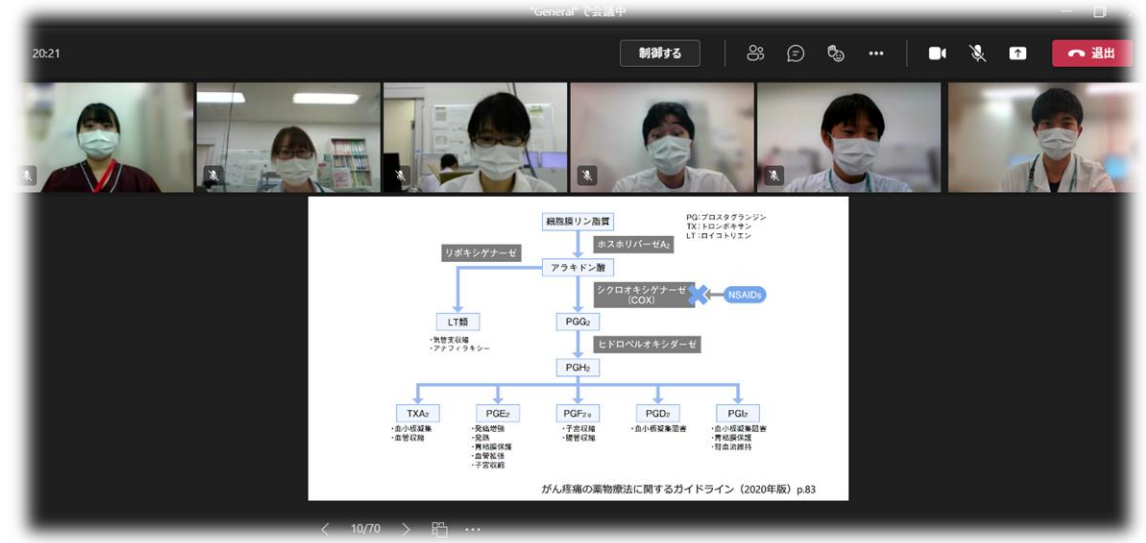
- 定期的にチューターとレジデントで面談を行い、研修や業務の進捗状況及び職場生活のサポートを行う
- 2年次レジデントが1年次レジデントのチューターを担当することで、指導能力を養成する



レジデント向け研修会—EBM(Evidence Based Medicine) 実践を目指して



業務報告会・症例報告会



- レジデント自身のプレゼンテーションスキルを養成する
- 臨床における症例報告 + ディスカッション能力を養成する
- 職員の発表から薬剤知識・症例介入等を学ぶ

専門領域研修会

- 薬物治療及びガイドラインなどについて、各領域に精通した薬剤師が講義を行う

領域（一部）	講師
心疾患の薬物治療・抗凝固療法	高血圧・循環器病予防療養指導士
糖尿病・脂質異常症	日本糖尿病療養指導士
がん	がん専門薬剤師
感染症	感染制御専門薬剤師
緩和ケア	緩和薬物療法認定薬剤師
栄養管理	NST専門療法士
腎機能低下患者における薬物療法	腎臓病薬物療法認定薬剤師

附属2病院合同 領域別研修会

附属2病院の強みを活かし、各領域の薬物治療及び薬物治療ガイドラインなどについて
専門・認定を取得している薬剤師（講師）から講義

内容（2024年度）

医療安全

緩和ケア【オピオイド鎮痛薬】

がん化学療法【基礎】

救急・集中治療

腎臓薬物療法

感染症【HIV】

栄養

妊婦授乳婦

精神薬物療法【せん妄・認知症】

がん化学療法【医療連携】

感染症【抗菌薬】

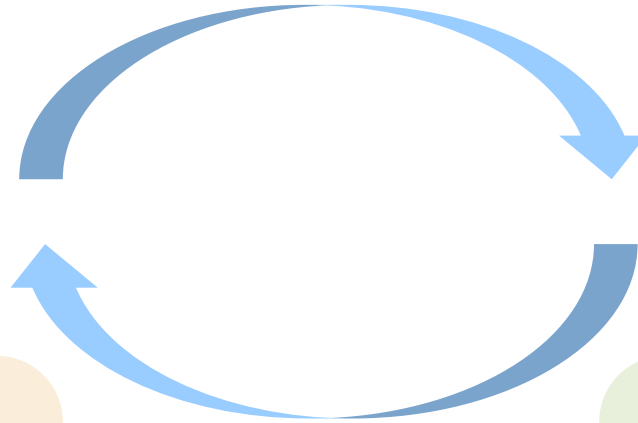
医療経済

附属2病院合同 レジデント交換研修

附属2病院の強みを活かし、各病院の特徴を学ぶ（研修期間：1カ月）

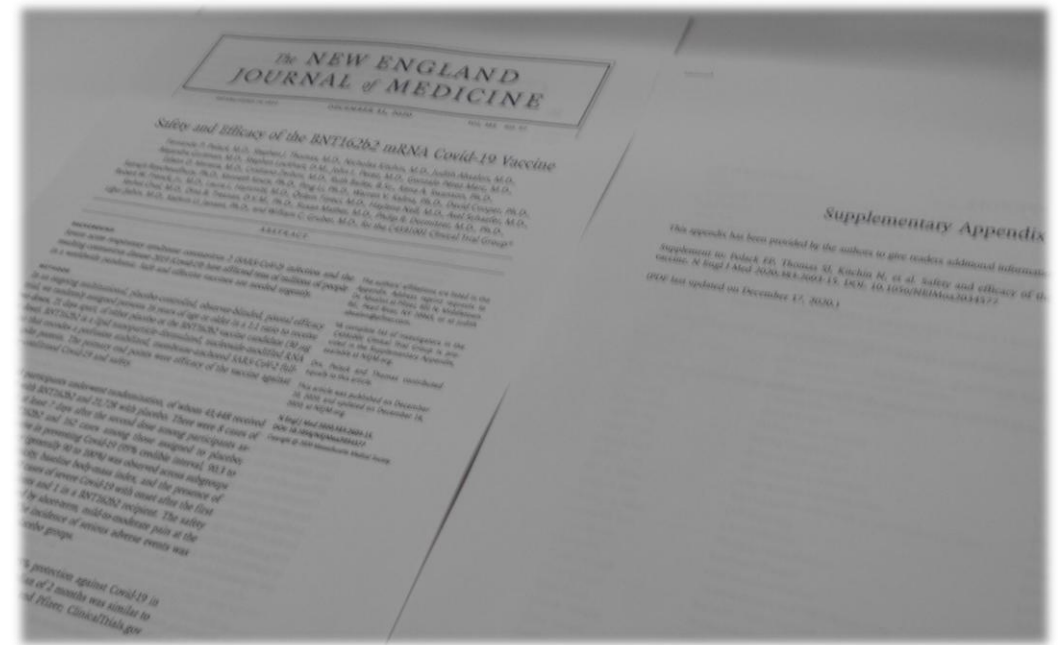


附属病院
(特定機能病院)
小児がん・希少がん
HIV



センター病院
(3次救急医療機関)
救急・集中治療
薬剤師外来・薬薬連携

論文抄読会



- 論文を批判的に評価することを目的に、定期的な抄読会を実施

レジデントカンファレンス



- レジデントと職員によるカンファレンス
- 処方解析や介入症例のプレゼンテーションを行う
- 皆で知識を共有し、薬物治療への理解を深める

臨床研究

レジデントプログラム期間内（２年間）に臨床研究・学会発表を行う

目的：

研究デザイン、倫理申請、情報収集、データ解析、発表への過程を経験し、薬剤師としての継続的な臨床研究を行う素地を作る

- 1年次：研究テーマ・指導担当者・発表学会を決定し、準備を開始
- 2年次：ポスター作製、学会発表を行う

レジデント終了後の進路



当院のレジデント（2年間）